



鏡川流域関係人口創出事業

～龍馬の泳いだ鏡川を後世に～

鏡川は、幕末の志士：坂本龍馬が泳いだことでも知られる、高知市の中心を流れる清流です。

近年、人口減少や少子高齢化が進行しており、担い手不足等による自然に対する人の適切な関わりが薄れ、流域の美しい景観や自然環境が失われつつあり、それらは自然災害等のリスクの要因にもなっています。そこで、高知市では、鏡川流域の自然と人、人と人をつなぐ「鏡川流域関係人口」を創出・拡大し、流域の自然資本の価値と持続性を高める地域循環共生圏の実現に向けて、官民連携で取り組みます。

取組内容

鏡川流域関係人口講座受講生等の活動支援

令和3～5年度に、鏡川流域の自然や人を学び、関係人口として自分なりの関わり方を実現できるよう、鏡川流域内・外で講座を開催しました。令和6年度からは、講座受講生や学生等への伴走支援を行っており、多様な関わりを企画・実行する主体者としての活動が実現しています。

スマートフォンアプリ「ぼっちり」の活用

流域への関わり方を見える化し、誰もが気軽に流域に関わることができるきっかけとして、スマートフォンアプリ「まちのコイン（高知市版：ぼっちり）」を運用しています。



事業の詳細



「ぼっちり」の詳細

- ・「ぼっちり」ユーザー数：3,479
- ・「ぼっちり」スポット数：144
- ・鏡川上流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数：47,712 (R8.3.9現在)



下流域で鏡川沿いを散策



沈下橋での交流



鏡川上流で川遊び



中山間地域の町歩き



北海道在住のユーザーと高知市で交流



「ぼっちり」で店舗との関わりを可視化

鏡川を軸にした高知市版地域循環共生圏（ローカルSDGs）の実現



<鏡川流域の目指す姿>

ESG活動を促進

環境（Environment）

- ・生物多様性の確保
- ・水資源の保全
- ・自然災害対策



社会（Social）

- ・人材育成
- ・地域課題解決
- ・地域の魅力向上



令和3年度に開始した本事業により、高知市内はもとより、高知県外（北海道や首都圏等）の関係人口との多様な関わりが生まれています。この動きを加速させ、流域の相互連携・相互作用を促進させることで、鏡川を軸にした「地域循環共生圏」の実現を目指しています。

本事業にご寄附いただくことで、企業さまには、高知市及び鏡川流域関係人口とのパートナーシップ構築、SDGs及びESGの企業評価向上といったメリットがございます。ぜひ、ご支援、ご協力をよろしくお願いします。